

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

第4回 そだちネットワーク部会

開催日時 2025年12月9日(火)

15:30~17:00

参加者所属機関名等

飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・野沢温泉村
児童養護施設いいやま・事務局(北信圏域総合相談支援センター)

本日のテーマ、課題等

(1) 全体共有 (2) 各WGでの検討

会議内容

(1) 全体共有

① 発達障がい診療関係者研修会の報告(北信保健福祉事務所)

11月21日 17時半より事例検討を行った。北信病院小児科医2名から、それぞれ保護者支援が必要なケースについて事例提供があり、助言者に信州大学本田医師を招き事例検討を行った。参加者は61名。

② 発達障がい支援フォーラム実行委員会より(事務局)

のちに研修動画の内容を思い出し活用できるように、リーフレットを作成した。

今後、YouTubeの活用や、学校関係者・支援者が集まる機会を活用し、広く啓発していく予定。

③ 自立支援協議会より(事務局)

権利擁護部会：

権利擁護の理解を地域に広める取り組みとして、寸劇を活用した啓発活動を実施している。

ここ数年は「身寄り問題」をテーマ。

市町村課題検討WG：

第3期障害児福祉計画の推進にあたり、児童発達支援センターの中核機能について、地域の体制整備を進める必要がある。この地域は、こども施策のなかで、障害児もフォローしており、障害分野のみではしくみづくりを考えることが難しい。そのため、こども家庭センターへ具体的な検討・協力を依頼していく。

今後、療育Coが各自治体に入り、その部分を促進していく。

④ 長野県自立支援協議会 療育部会より

前回の部会では、各自治体の福祉部署を対象とした障害児福祉サービスに関する調査の中間まとめを行い、気づきを共有する会となった。この圏域は、インクルージョンをネットワークで支えている分、障害児福祉サービスの有効的な活用についてはやや弱いことが改めてわかり、今後、その部分を検討していけるとよい。

3月に調査結果のまとめを公表予定。

(2)ワーキンググループ活動

●柱1:子どもの支援 WG

目的:子どもが適切な支援を受ける事で、その子らしさを発揮できる

- ・特別支援学級について、保護者にきちんと伝わっていないことがある。「静かなところで勉強ができる」といった持ちかけ方が入り口となっている。そのため、本日は、特別支援学級を適切に伝えるための工夫について話し合った。今後に向けて説明用リーフレットなどもあるとよいか。
- ・地域の学びの場の紹介

●柱2:家族の支援 WG

目的:家族がその子のいいところも苦手な所もありのままに受け入れて子育てができる

- ・良好な家族関係を築くことを目的とし、過保護の良さをメインに進めていく。
ポスターですべての情報を伝えるのは難しい為、まずは興味・関心を持ってもらうところを狙ったインパクトのある構成にする。
本日あがった意見をもとに清書し、次回の部会で最終確認後、完成へ。

●柱3:ネットワーク充実 WG

目的:子どもと親が安心して生活するために、支援者が繋がってチームを作ることができるツールづくり

- ・つながっていない家庭が高校や大学にいくまでに保護者や本人向けに相談先のリーフレットがあるといい。
飯山市は家庭児童相談員さんが中3の卒業前に生徒に困ったときの相談先を説明するしくみがある。
- ・相談とつながるアイテムをもうひとひねりしたい。
名詞の裏などに工夫できないか(QRコードやキーワードの記載など)検討していく。

(3)その他

次回(第5回)の部会: 令和8年 2月 18日(水) 飯山市木島地区活性化センター